



特集

国立大学文科系学部では、
初のツイニングプログラム導入

活躍する佐大OB

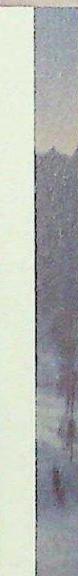
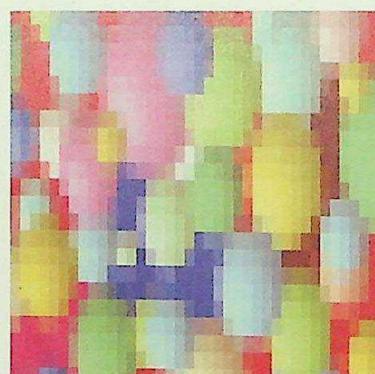
多くの食卓に“クリスタルの輝き”を届けたい!!

イキイキ佐大生

留学生生活紹介

トピックス

サークル紹介 etc



ハノイに佐賀大学初の海外サテライト設置

国立大学文科系学部では、 初のツイーンングプログラム導入

2009年9月14日、佐賀大学はベトナムのハノイ国家大学外国语大学(ULIS)内に「佐賀大学ハノイサテライト」を設置し、文化教育部は同校との間でツイニングプログラム(TP)協定を締結しました。

今後は、サテライトを日越の交流拠点とし、TP協定を契機として、国際感覚豊かなアジアの人材育成を目指します。

(ULISとの協定締結にむけて)

佐賀大学は、2007年8月に大
学間学術交流協定と学生支援覚書に
関する協定を締結し、両大学間でのツ
イニングプログラム(TP)協定に向け
ての検討をスタートさせました。TP
とは、留学生が自国において大学教育
の前期課程を受けた後、留学先の大学
に編入し、残りの後期課程を受けて、
母国の大大学と留学先の大学から二重
の学位を取得するものです。TPは、「教
育のグローバル化・国際化」に対応し
て、国際社会全体に寄与・貢献する人

(TP協定の意義)

この協定により、ULISで2年半
日本語教育や教養教育の授業を受け
た学生は、編入試験を経て本学へ留学
することが可能となります。今までの
留学生制度に比べて、来日前に一定の日
本語能力を身につけることができ、後
期課程のみの履修となるため、留学期
間の短縮、留学費用の節減などが見込
られます。

また、佐賀大学にとつてはアジアの拠
点大学としての国際的ブランド交流事
業のグローバル化・国際化に対応し

教育づくりを目指した新しい国際
教育プログラムです。



ハノイ国家大学外国语大学(ULIS)／1955年にベトナムの外国语教育の中心機関として設立され、1993年からはハノイ国家大学を構成する大学となる。同大学には、9学部、約15000人の学生が学ぶ。

佐賀大学ハノイサテライト／現地スタッフを配置し、寄贈した図書350冊の貸出しや佐賀大学や日本留学等に関する情報発信の拠点となる。



ハノイ(ベトナム社会主義共和国ハノイ市)／ベトナム北部に位置する、人口約620万人の同国の首都。ベトナムは、1986年に開始されたドイモイ(刷新)政策により、急速な市場経済化を進めており、2007年にはWTO正式加盟を遂げた。ベトナムは、「ポスト中国」との声もある程近年の経済成長は著しく、その市場の将来性に注目した多くの日本企業が進出しており、特に、TOTOや九州電力、ベスト電器、久光製薬など九州企業の進出も多い、親日的な国。しかしながら、高等教育の現状としては、国内における博士学位取得者は6千人程度であり、高度な学術知識取得者の確保が急務となっている。

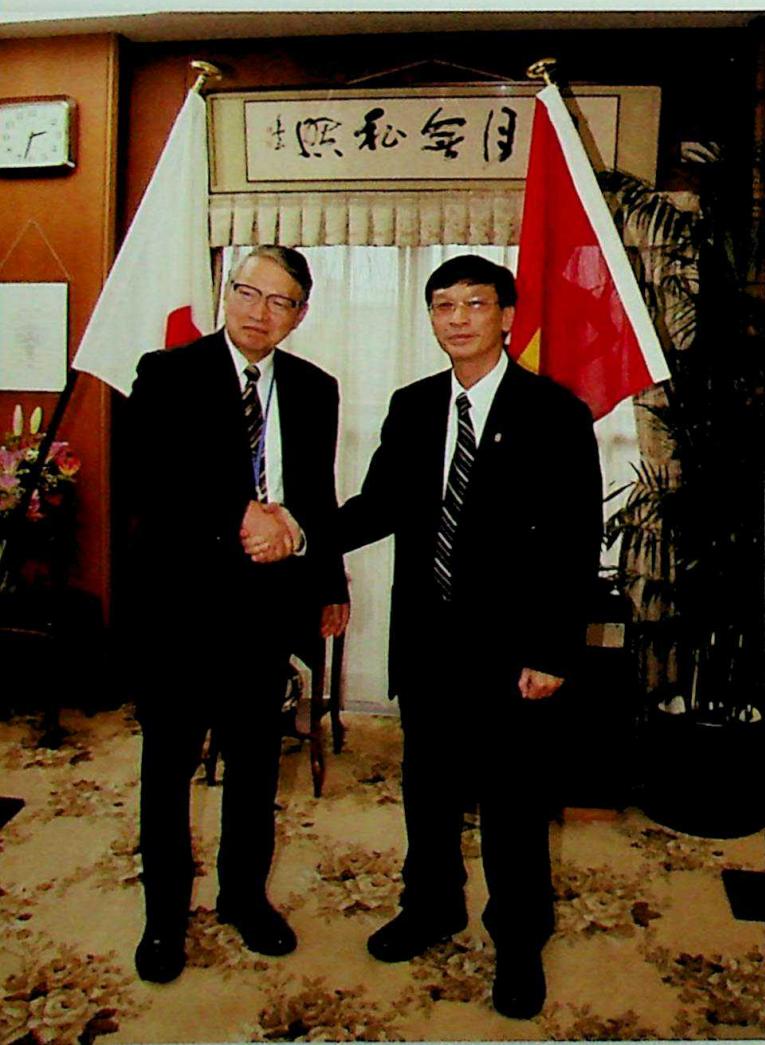


ホア学長一行と本学役員

業の展開、優秀な学生の恒常的確保や、さらに文化教育学部の特性化・個性化、国際的人材育成への貢献を図ることができるようになります。学生にとても、異文化交流体験機会の増加、国際的感性の醸成、留学意識の向上などが期待できます。

(今後の展望)

今後は、「佐賀大学ハノイサテライト」を拠点として、TPを始めとする様々な教育研究プログラムによる持続的な相互交流の実現を図ります。また、両大学に留まらず、他大学や民間企業も集えるようなベトナムと日本の窓口として活用し、両国の架け橋となつてたいと期待しています。



11月30日には、ホア学長はじめゴク副学長ら6名が本学へ訪問され、佛淵学長との対談が行われた。対談では、両校の交流によって教育の質を向上し、国際化に積極的な人材の育成を目指すことや、今後、サテライトをどのように効果的に活用していくかについてなどの意見が交換された。

ホア学長一行が本学を表敬訪問



翌日は、佐賀大学海洋エネルギー研究センターを視察。全国的にも注目されている海洋温度差発電の説明を熱心に聞かれた。



さらに、文化教育学部張准教授の講義にホア学長を迎え、ベトナムの教育や教育システムについての講義が行われた。

多くの食卓に

“クリスタルの輝き”

を届けたい!!

培った社会経験で、
新たな「バラフ」の
居場所探しに挑む



農研堂職員



「微生物」を学びお酒づくり

私が高校生だった頃、バイオテクノロジーという言葉が流行っていました。当時、蘭などの園芸植物に興味を持っていた私は「遺伝子操作によって、いろいろな形質をもつた生物を生み出せるなんておもしろい。自分でやつてみたい」と考え、農学部を志望し佐賀大学農学部の応用生物科学科に入学しました。入学後、興味の対象が「植物」から「微生物」に変わり、専門分野では主に応用微生物学を学びました。人の目には見えない微生物が“美味しい”「発酵食品」とりわけ「お酒」を造り出す事の不思議さやおもしろさを感じ、酒業界に進む事を決めました。

地元佐賀の老舗酒蔵窓乃梅酒造株式会社に就職した私は、酒造りの仕事に従事しました。日本酒は、お米を主原料に麹や酵母など醸造微生物の力を借りて造ります。お酒を“つくる”という表現をしますが、実際にお酒を造るのは微生物。人にできるのは、目的にあつた酒質のお酒を微生物につくらせる”

環境を整え、発酵を制御する事です。品温や分析値などから目に見えない微生物の営みを想像するのは大変楽しいものでした。

「悠々知醉」誕生に活かせた さまざまな現場経験

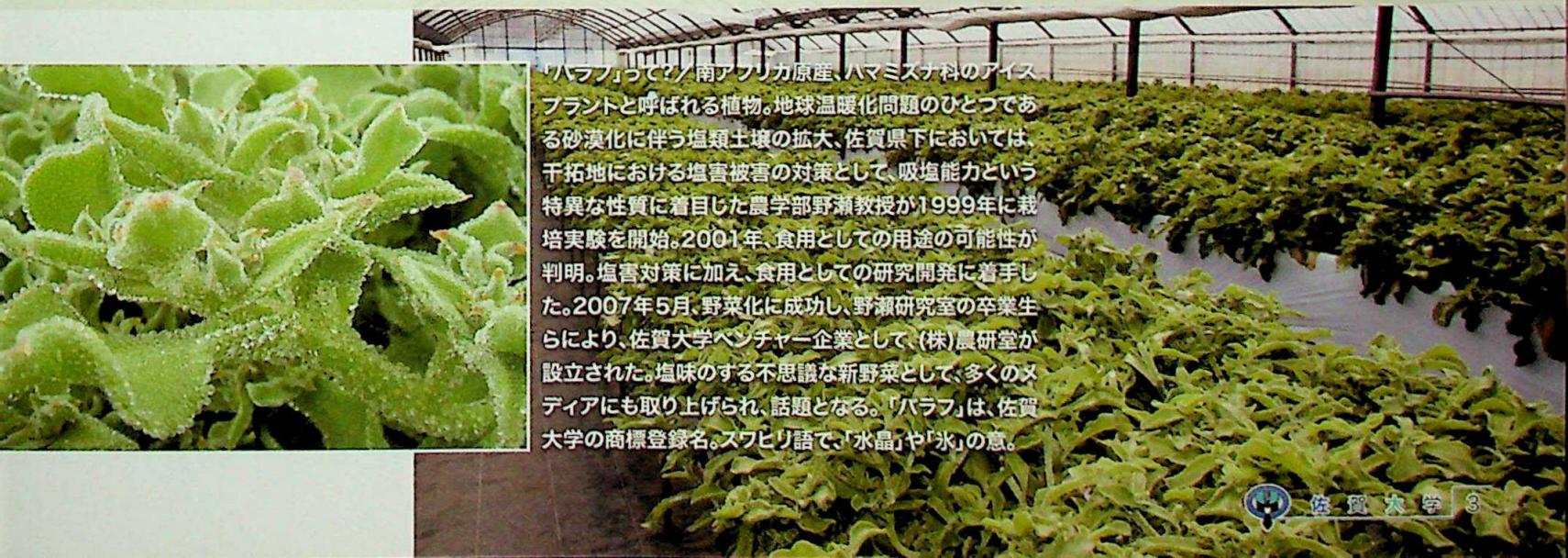
入社2年目に国税庁醸造研究所(現独立行政法人酒類総合研究所)で1年あまり研修員として在籍した後会社に戻り、しばらくの間、製造課長をつとめました。その後、企画開発課長として商品開発や広域営業業務に携わりました。このことは、とても自分にとって有益でした。製造から商品開発、営業・販売までの全てを経験できたのです。販売エリアや対象となる消費者などマーケットを意識した商品作りや販売企画、販売を自ら実行することができ、仕事の幅が大きく広がりました。「自分たちが“良い”と思うだけでは商品では売れない、販売者や消費者の視点で商品企画をしなければ”という思いを強くしました。更に「新たな需要を自分で創る!」という一步踏み込んだ



(株)農研堂 代表取締役
なが はら たつ や 咲 さん
永 原 辰 晴

平成7年・農学系研究科修士課程 修了

「バラフ」って? 南アフリカ原産、ハマミズナ科のアイスプランツと呼ばれる植物。地球温暖化問題のひとつである砂漠化に伴う塩類土壌の拡大、佐賀県下においては、干拓地における塩害被害の対策として、吸塩能力という特異な性質に着目した農学部野瀬教授が1999年に栽培実験を開始。2001年、食用としての用途の可能性が判明。塩害対策に加え、食用としての研究開発に着手した。2007年5月、野菜化に成功し、野瀬研究室の卒業生らにより、佐賀大学ベンチャー企業として、(株)農研堂が設立された。塩味のする不思議な新野菜として、多くのメディアにも取り上げられ、話題となる。「バラフ」は、佐賀大学の商標登録名。スワヒリ語で、「水晶」や「氷」の意。





最初の「悠久知醉」仕込み



佐賀大学ブランド清酒「悠久知醉」



修了証書を手に研究室にて

考えもするようになりました。

在職中、佐大農学部の加藤富民雄教授より佐大ブランドのお酒（特別純米「悠久知醉」）を造るお話をあり、メーカーとして参加させていただきました。この企画は、これまでの酒造りの知識や商品企画、販売の全ての経験を活かすことになりました。

バラフとの出会い

窓乃梅酒造を退職後も、佐賀大学ブランドのお酒「悠久知醉」のコーディネーターとしてかかわる事になり、佐賀大学に出入りしていました。そんな中、野瀬昭博農学部長より声がかかり、農研堂の代表にとの話がありました。皆さんは佐賀大学ブランド野菜「バラフ」をご存知でしょうか？葉の表面がキラキラと輝き、食べるとシャキシャキした食感で、塩味の野菜を。私はこの輝きに魅せられ、なんとか自分の手で事業を大きくしたいと夢を抱き、引き受けさせていただくことを決意し、2009年9月に株式会社農研堂の代表に就任しました。

バラフの新たな可能性を発見

農研堂は主としてバラフの栽培指導と販売をしています。販売する対象は「お酒」から「野菜」に変わりましたが、ブランド育成や需要開拓など今までに培った経験をいかせるのではと考えています。私が一番初めに手がけたのは、需要開拓です。“需要開拓”は言い換えれば“居場所”探し。バラフの新しい居場所を探す事にしました。営業会議で「バラフをクリスマスケーキの上にのせたら、キラキラ光つ

て、綺麗だろうね」という話になりました。そこで早速、佐賀県洋菓子協会に協力いただきながら、バラフを使つた洋菓子の試食会を開催しました。多くの洋菓子店に参加いただき、多くの試作品ができあがりました。そしてその約1ヶ月後には数アイテムを商品化し、百貨店で販売するまでに至りました。新たに一つの居場所が見つかつたのです。まだほんの入り口ですので、この先が楽しみです。まだ手つかずのアイデアがたくさんあるのですから。

全ての農産物に当てはまるのですが、農産物の生産・販売には、多くの難しい課題があります。その中で最も難しいと感じているのが、需要と供給のバランスをいかに図るかです。季節による収穫量の違いや自然災害などを起こりうるであろう様々な要因に対しフレキシブルに対応できるシステムを構築しなければと考えています。これについては、実は秘策があるのですが、企業秘密となりますので申し訳ありませんが、ここでお話しすることは控えさせていただきます。

佐賀県農業の活性化を目指して

最後になりましたが、多くの食卓に“クリスマス”の輝きを届けなければという思いを強くしています。“バラフ”事業の成功が佐賀県農業の活性化に繋がり、また、佐賀大学が掲げる地域貢献の大きな一翼を担えるものと確信します。

がんばります!! 皆さんの応援をよろしく

御願いします。



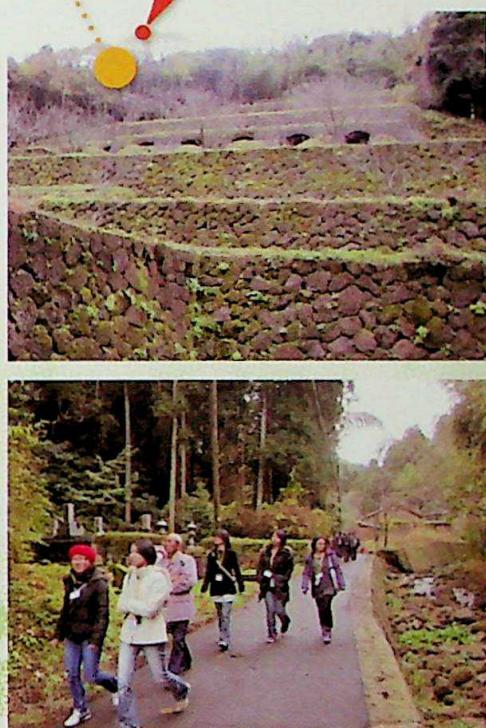
佐賀大学附属幼稚園でのバラフスイーツ試食会

バラフ栽培指導・流通担当
農研堂 永原辰哉さん

※掲載につきましては、サガテレビの許可を得ております。

ウォッキング佐賀

教室を飛び出し、
本物に触ることで
新たな発見や感銘



「ウォッキング佐賀」は、経済学部地域経済研究センターによる学生を対象とした実地研修で、1990年から50回以上、実施しております。更に近年は、市民の方々や高校生を対象にしたのも、別途、延べ20回以上、実施しております。企画については、主にセンターにかかる教職員が持ち寄りますが、最近は三重津海軍所のように、佐賀からも暫定リスト入りを果たした世界遺産への関心から、近隣の長崎の軍艦島や教会群等にも出かけております。学生や地域住民の方々とともに、世界にも誇れるような本物に触れ、それを感じ取り、さらに後世に残していく一助にもなりたいという思いによります。

この企画は、単なる観光ではなく、実地研修ですので、あわせて座学的な事前学習も行いますが、やはり現地現場におもむくと、新たな発見や感銘があり、さ

らに五感を駆使するため、脳裏にも深く刻されます。そして、このような体験を共有することから、参加者間の親睦も深まり、学生にとっても良い思い出になるのではないかと思っております。

昨年の12月13日に実施した学生版のウォッキング佐賀では、産業関係で実際に世界遺産になつたものに触れたいという思いから、少々遠方でしたが、2007年に世界遺産に登録された島根県の石見銀山におもむきました。早朝に大学から出発し、バスで長時間移動するという企画でしたので、参加者の意識は高かつたと思いますが、実は企画を持ち寄った私にとっては、現地に到着するまで不満がありました。それは、銀山におもむくにもかかわらず、今回は間歩(＝坑内)に入れず、入口のみの見学になるということで、学生にも申し訳なく思ひながら現地に向かいました。

しかし、現地に着くと、そのような不満は全く解消されました。案内の方から、石見銀山が世界遺産となつたコンセプトは、「自然と調和した開発」であることを、間歩にいたる道のかけ崩れの修復や、こうもりの越冬の場となつていているため通常、公開されている間歩に入れないうことについての説明があらためてあり、むしろ、コンセプトを貫く姿勢に感銘しました。それにもまして、山々に抱かれた歴史的な町並みや遺構を巡ることで、再度、皆で訪れたいと思つた次第です。

学生のみならず、地域の方々等にも参加の機会を用意しておりますので、大学の教育研究者が企画するこのような体験型学習の機会に、皆さんも参加されてみてはいかがでしょうか。



経済学部准教授

やま
山 本 長 次経済学部地域経済研究センター
社会連携事業部主任

バイオマス廃棄物を用いた 有価金属の回収および 有害元素の除去

資源確保対策や環境問題に光

当研究室では、分離を研究の核とした有価金属の回収と有害元素の除去を行っています。レアメタルという言葉を耳にするかもしれません、機能性材料には様々な種類のレアメタルが含まれており、日本の産業はレアメタルなしには成り立たないと言つても過言ではありません。資源の乏しい我が国の資源確保の対策や世界的な環境問題への取り組みは研究の追い風となっています。

目的金属を分離するには化学物質が必要であり、自然由来の物質や人工物質の開発を行っています。自然界には生物が生産する莫大な量のバイオマスと呼ばれる物質があります。例えば、木質はセルロースやリグニンが、ブドウや柿などの果皮やお茶にはポリフェノール類が、甲殻類の殻にはキチン質などの有用



「木屑吸着剤による金の吸着・還元」
(大学院生の松枝美幸さんからの提供)

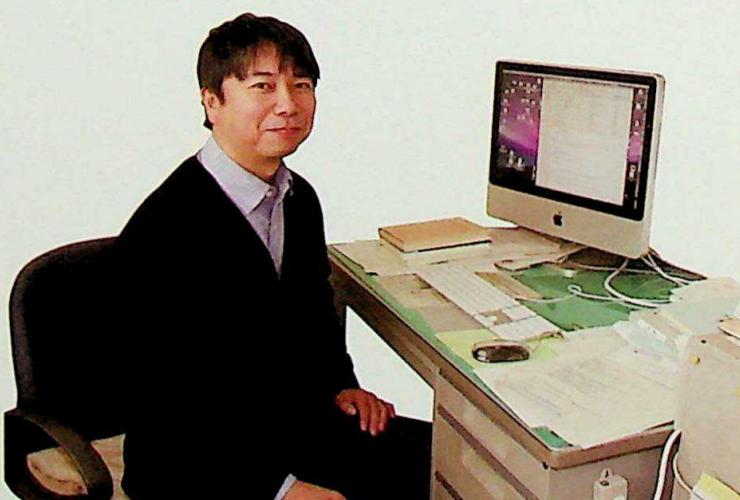


成分が含まれています。製品化後の商品価値のない木屑や果物の搾汁残渣に簡単な化学処理を施すと自然由来の物質ができます。

一方、特定金属のみに適合する特殊な構造を持つ化学物質を人工的に合成するのがもう一つの概念です。構造的に不自然な物質をうまく構築し、自然を凌駕しようとしています。両方の物質は一長二短があり、目的やニーズに合わせてテラーメイド的に利用できればよいと考えています。一例を図に示します。様々な金属類を含む水溶液に、化学処理を施した木屑(吸着剤)を加えると金のみが回収できます。金は溶液中ではイオンと呼ばれる無色の状態で存在しますが、これに吸着剤を加えると、金イオンはその表面に吸着します。更に、木質

中のリグニン成分の還元作用によってイオンから金単体へと変換し、最終的に金粉として目で見える形で回収できるようになります。この一連の現象は金のみにしか起こらないので、白金やパラジウムといった貴金属類などから容易に分離回収できます。

最後に、恩師の一人が残してくれた言葉、松尾芭蕉の「不易流行(ふえきりゆうこう)」を紹介します。正確にはもう少し長いのですが、その意味は「不变の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がない」のです。「不易流行」は、大学のあり方や本学の唱える理工融合の概念と合致するように思います。



理工学部機能物質化学科教授

おおとけいすけ
大渡 啓介

レアメタル…地球上にほとんどない金属や、経済的・技術的な理由で分離するのが難しい金属の総称。日本では経済産業省が定義した31鉱種(47元素)の総称。金や銀は含まれない。

若年層の献血を啓発 献血推進クラブ「ちっち」



佐賀県学生献血推進委員会（佐賀大）学内では「献血推進クラブ『ちっち』」は、「近年減少傾向にある若年層の献血を、同年代である自分たちの視点から啓発すること」を目的として活動しているボランティア団体です。私たちは、主に四季にあわせたイベントを通じて啓発活動を行っています。

8月下旬に行う「夏の九州統一イベント」では、私たちと同じ活動目的をもつた九州全県の学生献血推進メンバーが一同に集います。2泊の合同研修やイベントの運営等を行うのですが、意識の高い学生が計100名ほど一箇所に集まって研修等行うため、自分の意識も自然と高まります。知人が各県にできることが、私たちの団体の魅力の一つと言えます。

また、サマー献血キャンペーンやクリスマス献血キャンペーンは、名前通りのその季節に合わせた服装をして呼び掛けを行います。風船を配ることが多いので子供達がすごく寄ってきます（笑）。「はたちの献血キャンペーン」もそうですが、通

常大型ショッピングモール（ゆめタウン佐賀等）でイベントを行います。こういったイベントは、自分たちで内容や企画を考えて自分たちで運営します。

この活動を通して一番の学びは「積極的に動く、まず行動すべき」という「気づき」です。「これはやっておかないと後悔しそうだな」と思ったことはまず実践します。その結果か、推薦を受けて献血推進団体の九州代表になつたり、全国の代表者会議に参加させていただいたりしました。「行動する」ことにより、様々な刺激を受ける「機会」が増え、自分の視野が広がるのを感じました。これは「自己成長」の大きなキッカケとなるものだと思いますし、こういった「機会」が多くあるのも、私たちの団体の魅力であると考えています。

自分を多面的に成長させたい人、色々な人とのつながりを作りたい人、「献血」という命に近い部分でボランティア活動してみたいという人、ぜひ私たち「献血推進クラブ『ちっち』」に入ってみてください！ いつでもウェルカムです♪



佐賀県学生献血推進委員会
(献血推進クラブ「ちっち」)会長
猿澤 さわ ゆう 雄 いち一

理工学部知能情報システム学科3年



街なかに人々が集まる 空間づくりを 学生まちづくり広場「ばるん」



学生まちづくり広場「ばるん」代表

とくしま 大作

経済学部経済システム課程2年

*私たちのまちづくり活動

「まちづくり」と聞くと、おそらく多くの方が大規模な事業を連想されると思います。しかし、私たち「ばるん」が行なっていることは、インフラの整備や景観の改善、商店の営業成績向上といったことと直接的には関係していません。むしろ、人が集まるキッカケづくりや思い出づくりといったソフト面でのまちづくりをしています。

実は、メンバーのほとんどが、県外出身で、佐賀は彼らにとっては見知らぬ土地です。僕は代表として、また佐賀県民として、大学4年間を佐賀で過ごす学生に最高のおもてなしをしたいと思いました。「ここに来れば自分の居場所がある。自分の成長につながるチャンスがある」

いつの日にか、佐賀の地がみんなにとってのふるさとのような場所になり、大学を卒業してからも佐賀を気にかけてもらえるようにしたいと思いながら活動しています。

*若者と社会の接点 ～世代を超えた交流～

私たちの活動目標は、「街なかに人々が目的をもって集まる空間づくり」です。そのために私たちは3つの事業を運営しています。

***「ばるん」のこれから**

学生が社会貢献活動を行ううえで、時間とお金による制約はかなり厳しい状況にあります。私自身、無理してまでやるのも限界があります。そこで、「ばるん」では活動に収益性を持たせる工夫、役割分担、将来に活かせる経験の提供をすることでメンバー一人ひとりの学生生活が満喫できるような工夫をしています。これからも、自分たちの可能性を信じて楽しまながら頑張りたいと思います。

1つ目は、「ばるん塾」 小・中学生を対象とした学習塾で、学生自ら講師となり運営しています。先生と呼ばれることがより「お兄ちゃん、お姉ちゃん」と呼ばれることが多い、私たち講師自身も生徒と向き合うなかで、多くを学んでいます。

2つ目は、「街なか瓦版」

市街地エリアの商店を取材し、地域のフリーペーパーを作成しています。プロの方を相手に仕事をさせていただけて、とても刺激的です。

3つ目は、「商店街トリートメント大作戦」

単純な清掃活動ではなく、世代を超えた交流の場としての人脈づくりに役立てています。



学生による学生のための就活応援活動

就活サプリで 就職能力をアップ



生協就活サプリ 代表

本田 翔太

工学系研究科博士前期課程1年
知能情報システム学専攻

現在私は、工学系研究科知能情報システム学専攻1年次に在籍しており、就職活動の真っ只中になります。就活サプリに携わったのは、私自身の就活の視野を広げたいという想いがあつたためです。専門分野を専攻しているため、就職希望先は通常、自分の専攻分野に関連した業界・業種に絞ってしまいがちです。しかし、自分の考え方方に合い、やりがいを感じるような職場は他にあるかも知れません。また、専門外の領域に目を向けることで、どのような仕事をしたいのか、どれだけ専門系の仕事を求めているのかを考える機会になると考えていました。

就活サプリは学生による就活支援団体です。全国の大学生協のネットワークを生かし、セミナーの企画・運営や冊子制作を行います。本年度は本学卒で社会で活躍されている方を講師に招き、計4回のセミナーを開催しました。セミナーでは、まずは働くことの意味についての理解を促し、エントリーシートの書き方や模擬面接、グループワークなど実践的な内容を取り入れました。模擬面接やグループワークなどで、なかなか自己アピールが

できない参加者もいましたが、練習を重ねるにつれ、上達していく様子が見てとれました。また、全国のサプリと協力して「就活サプリ2011」を制作しました。学生に親しみやすい制作を心がけましたので、1・2年生にもきっと役立つはずです。

この就活サプリ活動は企業訪問をしたり、社会人に取材をしたりと大変なことが多いですが、その分成長でき活躍できる場です。毎週ミーティングを行い、意見をまとめるためによくグループワークを行います。これを重ねることで、その手法や有効性に気づくことができます。

また、冊子の掲載をお願いするために、企業に営業を行います。電話でアポイントメントを取り、プレゼンテーションをさせていただき伺うのですが、なかなか快諾をいただけず、営業活動が嫌になることがあります。しかし、企業の方との話を重ねるうちに、それが自分の力になつたことを実感しています。今では企業の方に対しても、はつきりと自分の考えを伝えることができるようになりました。



楽しながら認知機能低下を予防

健康麻雀教室活動と効果検証の試み

地域医療科学教育研究センター 教授 ほり 堀川 悅夫

漢字を思い出せない経験は誰にもあるのではないでしょか。パソコンの普及で手書き文字を書く機会が少なくなつたことや、加齢による影響などが考えられます。日常生活で体験する物忘れが認知症のサインではないのか、と心配される声をよく聞きます。また、昨今のブームともいえる“脳トレ”が注目され、記憶をはじめとする脳機能を鍛えるにはどうしたらいいのかという質問も受けがちが判断できます。

認知症の診断基準の項目の一つに記憶障害が含まれますが、認知症に該当する記憶障害は、年齢相応の記憶能力の低下とは異なります。その違いを見いだす方法として認知機能検査、あるいは神経心理検査といわれる検査が行われ、基準値との隔たりから年齢相応の物忘れか否かが判断できます。

漢字を思い出せない経験は誰にもあるのではないでしょか。パソコンの普及で手書き文字を書く機会が少なくなつたことや、加齢による影響などが考えられます。日常生活で体験する物忘れが認知症のサインではないのか、と心配される声をよく聞きます。また、昨今のブームともいえる“脳トレ”が注目され、記憶をはじめとする脳機能を鍛えるにはどうしたらいいのかという質問も受けがちが判断できます。



教室の風景と健康麻雀指導ボランティア



効果検証のための認知機能検査

だけでは限界があり、我々は地域に出向いて認知機能測定を行い、そのうえで認知機能の回復が見込める訓練方法を紹介したり、「脳いきいき教室」を開催しています。その一つが健康麻雀です。初心者が麻雀を覚えることは、新たな知的活動を継続して行うこととなるうえ、4人で会話しながら行うことで社会性の維持、そして、閉じこもり予防などの効果が期待できます。ゲームを行ながる認知機能低下予防や社会性維持に効果があれば、二石一鳥以上の効果です。

受講生は麻雀の習熟につれて他の参加者との親交も深まり、いわゆる脳機能の改善を自覚される方もいらっしゃいますが、やはり、医学部として実証的検証のために認知機能検査を前後二回行い、統計解析を行っています。

特筆すべきは、麻雀教室終了後に参加者有志によって企画運営される独自の健康麻雀クラブが継続されることでしす。“楽しみながら認知機能低下を予防する”というポリシーが功を奏し、継続の動機づけを高めたのであるうと思われます。

今後は、より積極的に認知機能回復訓練を発展させ、日常生活のままで測定できる脳機能計測も行いながら、より初期の段階での認知機能低下の検出を行って、地域の皆さんの認知機能低下予防に貢献したいと考えています。

付記 本事業は、佐賀県立病院好生館元看護部長の東内順子氏や佐賀県医療統括監で前佐賀大学医学部附属病院長の十時忠秀先生と共同で行っています。

佐賀大学で日本をじっくり 楽しく学ぶ



留学生
生活紹介



日本とインドネシアの架け橋として

"Friendship is always a sweet responsibility, never an opportunity."
(Kahlil Gibran)

まず、自己紹介です。私は、インドネシアからの留学生で、Adiと申します。佐賀に住んで6年になります。文部科学省からの奨学金を通して、2004年4月2日に佐賀大学にはじめて来ました。佐賀に来る前に、インドネシアの財務省で働いていました。両国の良好関係を守るために、この6年間はずっと頑張っています。2007年まで、工学系研究科の学生として、博士の学位取得に頑張っていました。2007年によくやく博士になって、今年はもう博士の3年目で、3月帰国する予定です。

佐賀では、いろんなイベントや活動に参加しました。

○ガタリンピック(鹿島)

みんな海岸で、泥んこになりながらいろいろなスポーツゲームをやっていました。

○七山滝登り

みんなで激しい川を登っていました。

○バンド活動

留学生や日本人の友達と小さなミュージックバンドを作って、学内や学外で何回もライブをしました。

○秋の祭り

みんな武士みたいに自分を飾ったり、腰に刀をつけたりしました。佐賀県庁に向かって進軍のように歩いて行きました。

○佐賀バルーンフェスタでボランティア

佐賀はバルーンイベントで世界中に有名なので、いい思い出を作るために、バルーンフェスタでボランティアをしました。とても有意義な経験でした。

工学系研究科システム生産科学専攻3年

ジャフリアディ（インドネシア）

○「ちびっこキャンプ」で子育て体験

子供たちと遊びながらも、食事のマナーをちゃんとやらせるという日本の子育てをはじめて体験しました。

○「鍋島三十六萬石大名行列まつり」

みんな武士みたいに自分を飾ったり、腰に刀をつけたりしました。佐賀城に向かって進軍のように歩いて行きました。このような伝統的な服装をしながら歩くのは新鮮感に溢れて面白かったです。

最後に、佐賀に感謝したいと思います。

ここはもう私の第二の故郷になっています。2か月後に帰りますが、ここでもらった経験をこれから的人生に生かして、政府委員として責任感をもつように頑張ります。「いい友達がいるのは最も楽しいのに対し、いい友達になるのは最も貴重で、難しい経験だ」とのことわざにあるように、出会った方々は、これからもずっと私の心に生きていきます。



佐賀大学CM作りやテレビ番組出演など、数々の貴重な体験に学ぶ

私は2年前に短期留学プログラム(SPACE)の学生として、佐賀大学で勉強を始めました。SPACEで学ぶことは、他の留学生や日本人の友達と一緒にさまざまな体験をするとても良い機会となりました。今は、教育学研究科の学校教育専攻の大学院の一年生として、カナダと日本の教育制度の比較について研究しています。

佐賀大学は、日本語の授業も充実していて、留学生も多いので、とても楽しく勉強することができます。佐賀へ来る前には、ポーランド人やインドネシア人などと会うことなどはありませんでしたが、今では、世界中どこへ行っても友達がいます。それに日本人と触れ合う機会もたくさんあります。大学でのスポーツや文化系のサークルとの交流を通して、日本語で話すチャンスも多く、同時に、世界の色々な文化を味わいながら、日本の素晴らしい文化を勉強することができました。

佐賀に来てから、テレビに出演するチャンスがあって、びっくりしました!最初は、佐賀大学のCM作りに参加し、さらにお祭りのために作られた大学のうちわにまでその時の一コマが使われていました。また、佐賀国際ふれあいフェスタでは、佐賀テレビとぶんぶんテレビの生放送がありました。緊張していましたが、友達と一緒にテレビでよく見るアナウンサーと会うことができて、とても楽しい体験となりました。そして、昨年の12月に放送された、NHK番組「肥前路吟行～さがん文芸～」に出演で

教育学研究科教科教育専攻1年
J.P. ジェイミソン(カナダ)

きたことは、世界中で有名な日本の短歌や俳句について学ぶ機会となり、とても嬉しかったです!

これから私は1年間を佐賀で過ごすことになります。SPACEのときとは違い、この期間中、もっとまだ知らない経験ができると思います。もっと日本について勉強し、私の国カナダと色々比較していくことも楽しみの一つだと思っています。

本当に佐賀大学で勉強することは良い機会だと思います。皆さん、数多くの経験を味うことができ、友達も増えますよ。



日本人の礼儀や優しさを 大学の勉強や交流を通して学びたい!!

私は、佐賀大学大学院経済研究科を目指して勉強している、中国留学生金玉女です。2008年10月から留学生活を始めました。ほぼゼロからのスタートでしたが、指導の先生をはじめ、国際課、教務課、生協、先輩、友達のおかげで、今は勉強も生活も楽しんでいます。皆様の優しさをいつもありがとうございます。

私は日本のすばらしい礼儀に憧れます。自分も優しい笑顔で正しい礼儀ができる女性らしい女性になったらいいなと思います。でも、なかなか難しくて、身につけることができません。残念ながら、「優しい笑顔って心をこめないと作れるものじゃないな」と思いました。そして、日本人の心境を経済の勉強を通じて、もっと知りたいと思います。もちろん、勉強だけでは真のものを充分理解できないので、日本人との交流も大事にします。財団法人佐賀県国際交流協会の国際理解講座派遣講師、佐賀県生活ガイドリーフレット作成(中国語)、大学のノートテイカーなどもしました。いずれも、未熟な私ではうまくできることです。でも、皆様はいつも優しく説明やアドバイスをしてくれるだけではなく、私が遠慮なくするように気をつけてくれました。皆様に何かをしてあげたというより、むしろ私が皆様の優しさのおかげで成長したと思います。

「皆様の優しさとすばらしい礼儀は、魅力が溢れます!!!!」。だから、今後も日本のこといっぱい勉強して、自分が憧れの女性に近づきたいと思います。



経済学研究科研究生
金 玉 女 (中国)

雅楽部(本庄キャンパス)



部長

藤田 勝士

文化教育学部人間環境課程2年



こんにちは！佐賀大学雅楽部です！

僕たちは毎週火、木、土曜日の午後6時からサークル会館2階にて練習しています。

雅楽と聞いてどのような音楽なのかをすぐに思い浮かべることのできる人はあまりいないのではないでしょうか？普段耳にすることができる機会があるとすれば、神社での結婚式や奉納ぐらいでしょう。簡単に言ってしまえば日本古来の音楽であり、用いる楽器は尺八や三味線などの一般的な和楽器ではなく、笙(しょう)や簫篥(ひちりき)といった独特なものです。世界最古のオーケストラ形式ともよばれています。

このように歴史の古い雅楽ですが、佐賀大学雅楽部は2005年4月に創られたまだ若いサークルです。かなり珍しいサークルのようで、九州内の大学で雅楽部があるのは佐賀大学と九州大学の2校だけです。イベントとしては、日本の伝統芸能として留学生への雅楽の紹介や、雅楽本来のおつとめである神社での演奏が主なものです。こういった演奏会では平安時代を思わせる派手な衣装を身にまといます。とても雰囲気が出ますよ。

ちなみに僕は和楽器の不思議な音色が好きだったことと、「雅楽って何？」という好奇心から入部しました。少しでも興味を持ってくれた方は気軽に部室まで見学に来てください！部員みんなが一から始めましたし、そもそも経験者はそうはないジャンルでしょう。みんなでこのサークルを大きく、歴史あるものにしていけたらいいなと思います。



空手部(鍋島キャンパス)



部長

松本 真理子

医学部医学科3年



押忍！みなさんこんにちは。押忍と聞くと何を想像するでしょうか？…私たちは佐賀大学医学部空手部です！

練習は週3回で1回2時間、大会や審査で帯の色が変わるとときには昼休みに練習するなど、忙しい授業や実習の合間にぬって集中して練習に取り組んでいます。ほとんどの部員が大



学から空手を始めたのですが、運動経験のなかった人でも練習を重ね黒帯を取得していますし、大会では毎年入賞者も出ています。また、学園祭で模擬店を出店したり、卒業生や入学生を祝うイベントを企画したり、みんなで遊びにいったりと練習以外でも部員同士楽しく過ごしています。

私たちは将来、医師や看護師となりますますが、今医療関係者に求められている「自身で考える力」と「コミュニケーション能力」さらに「肉体的・精神的なタフさ」を大学の講義だけで培うのはとても大変なことです。だからこそ課外活動を通して、同じ目的を持った仲間と議論し協力することでそれらを身につけていけると思います。もちろんこの空手部も共に空手の上達を目指し、互いに切磋琢磨しあうことで、空手だけでなく勉強や個人的な悩みでさえも支えあえる仲間をもち、一人ではできないこともみんなで努力することで、人間的に成長していく場となっています。

医学部ではたくさんの部が盛んに活動しています。勉強だけではない、練習だけではない、遊びだけではない——そんな場所が空手部です。

「悠久知醉」

佐賀大学ブランド特別純米酒

新酒の販売が
始まりました。

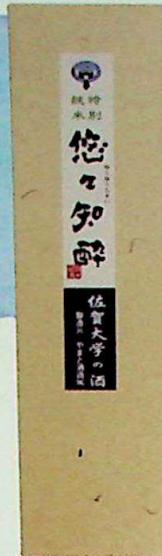
お求めは…

佐賀大学生活協同組合、佐賀玉屋、大和
ジャスコ、ゆめタウン、あんぐるふじや(佐賀本
店、北部店)、ダイレックス(高木瀬店)、森本
酒店、しめなわ酒店 他

電話、FAX又はメールでのご注文は、
以下の取扱いとなります。

〒840-0027 佐賀市本庄町1番地
佐賀大学生活協同組合

E-mail Sadaicoop.Honbu@me3.seikyou.ne.jp
TEL 0952-25-4450/FAX 0952-25-4287



読者アンケートご協力のお願い

広報誌「かちがらす」や佐賀大学へのご意見、ご要望等、皆様の声をお聞かせください。いただきました貴重なご意見等は、今後の広報誌の紙面作りや大学運営の参考にさせていただきます。



今までのご意見等への反映事例

ご意見・ご要望

佐賀大学
結びながら
のようだ

自治体や
推進してい
る報誌「かち
ていただき

ご意見・ご要望

全国でも
動を取り
紹介記事

本誌サーク
または、特集
事を掲載す

たくさん

特別企画
読者アンケー
回答された方
もれなく！

佐賀大学マスコットキャラクター

「カッチー
オリジナル

読者アンケート

(1)佐賀大学広報誌「かちがらす」第18号について、ご意見をお聞かせください。

■「かちがらす」第18号で興味深かった記事は何ですか？(複数回答可)

1. 特集 ハノイに佐賀大学の海外サテライト設置
2. 活躍する佐大OB 多くの食卓に“クリスタルの輝き”を届けたい!!
3. 教育紹介 ウォッキング佐賀 教室を飛び出し、本物に触わることで新たな発見や感銘
4. 研究紹介 バイオマス廃棄物を用いた有価金属の回収および有害元素の除去
5. イキイキ佐大生 若年層の献血を啓発 献血推進クラブ「ちっち」
6. イキイキ佐大生 街なかに人々が集まる空間づくりを
7. トピックス 就活サプリで就職力をアップ
8. トピックス 楽しみながら認知機能低下を予防
9. 留学生生活紹介
10. サークル紹介 空手部&雅楽部
11. お知らせ 佐賀大学ブランドの特別純米酒「悠久知醉」

読者アンケートご協力のお願い

■「かちがらす」全体の印象はどうですか？

1. 良い
2. まあまあ
3. 良くない

■「かちがらす」についてのご意見や、今後取り上げてほしいテーマがあ
りましたら、ご記入ください。

(2)佐賀大学に対するご意見・ご要望等がありましたら、ぜひご記入ください。

読者アンケートご回答された方へ、もれなく佐賀大学マスコットキャラクター
「カッチーくん」のオリジナルミニハンドカチをプレゼント!!(平成22年4月末日消印有効)

ご希望の方は、「カッチーくんミニハンドカチ希望」にチェックを入れて、住所、氏名欄にご記
入願います。(なお、当個人情報は、ミニハンドカチ送付以外の目的には使用いたしません。)



編集後記

目下、佐賀大学の「人気商品」として、「カッチーくん」と「バラフ」が
あります。「カッチーくん」は、堅苦
しい学務情報に学生の目を向けて

記上ギャラリー

作品名

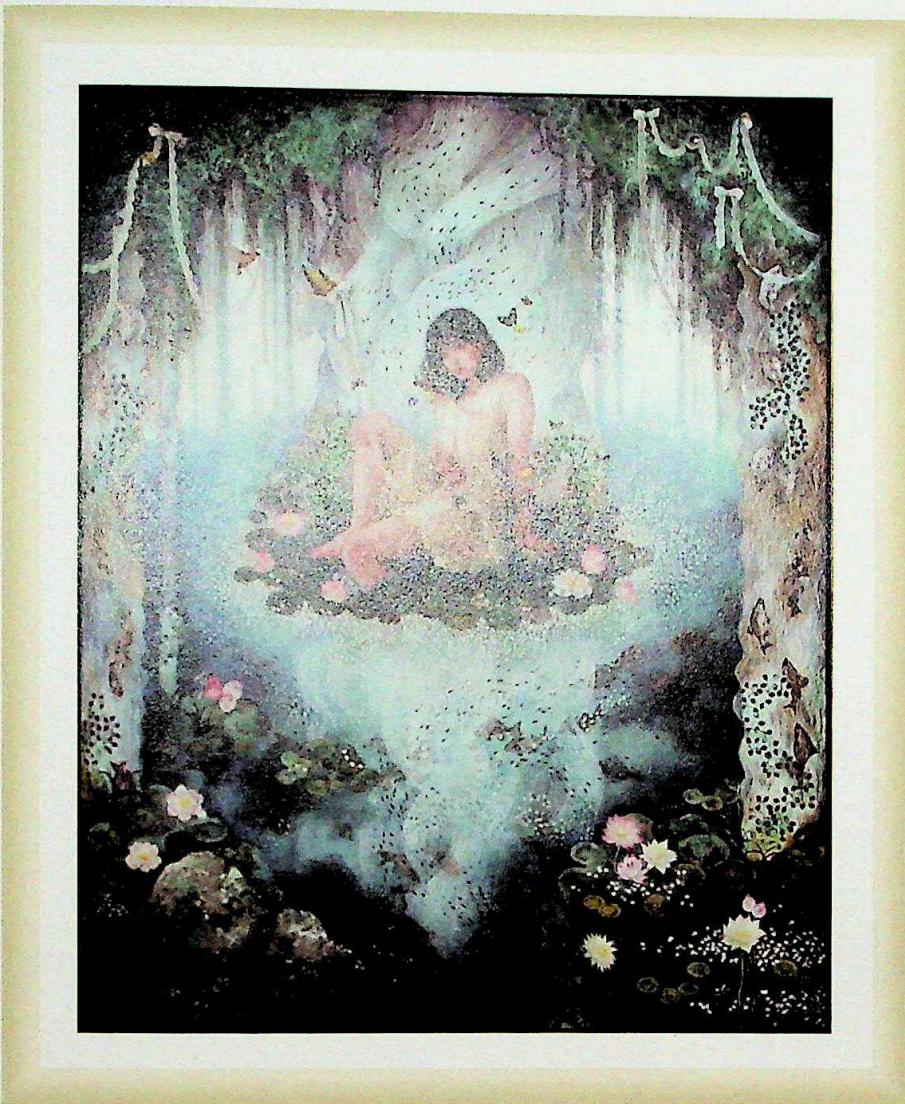
「生命の瞬間と純潔」

(2010年2月開催の第54回卒業制作展出品作)

鶴

ゆうな

友那 (文化教育学部美術・工芸課程4年／西洋画専攻)



【作者プロフィール】

- 1987年 広島県に生まれる
2006年 佐賀大学入学
2008年 第91回佐賀美術協会展 石本秀雄賞
2009年 第92回佐賀美術協会展 鍋島報奨会賞

【作者コメント】

今回、女性の内面表現をテーマに制作をしました。体内に新しい生命を宿し、そうやって未来をつないでいく女性の美しさと、その中にある不安や葛藤など、様々な感情を1つの画面の中に表現しようと思いました。また、マチエール表現の構成も工夫したので、その面白さを感じていただければ幸いです。



カッチーくん

本学の情報を携帯電話で見ることができます。簡単アクセスはQRコードをご利用下さい。
携帯用 URL:<http://daigakujc.jp/qr/qssaga-u.png>

